

保健室は、次の生徒が利用する心と体の教室です。

- * ケガや体調不良などで授業が受けられなくなった生徒
- * 体や心の悩みなどで相談したい生徒
- * 健康診断や、身体計測などを通して、健康に対する科学的知識を得たい生徒
- * 健康や体の勉強をしたい生徒
- * 身体計測をしたい生徒

保健室利用に関する指導方針

- 1 学級集団の中で生活することを基本にする。
- 2 体調不良などで学級集団に参加できにくい生徒には、健康指導を重視していく。
- 3 健康に生活するための基礎知識と実践力を身につけさせる。

具体的指導

1 けがをした時

- ・応急処置のしかた、ケガの予防について学習する。
- ・医療機関にかかる場合、家庭連絡する。連絡先を本人が分かるようにしてください。また、連絡がとりにくい場合は、かかりつけの医師名を言えるようにしてください。
- ・帰宅後受診した場合、必ず学校に連絡してください。

2 体調が悪くなった時

- ・観察の後、授業に復帰できる者は参加させる。
- ・要観察者、休養を要する者は保健室に居させる。
- ・不調の原因を考えさせ、健康を取り戻すための方策を考えさせる。
- ・早退させる場合は原則として家庭連絡をとったうえで下校させる。
- ・薬は原則として与えない。

- * 学校は治療をする医療機関ではありません。体調不良で度々来室する生徒については家庭連絡し、健康回復について一緒に考えます。

お願い 一日の出発は朝の健康観察から

子どもの健康状態を毎朝チェックしてください。中学生ともなると、とかく目を離しがちになります。外見は大きくなってもまだまだ子どもです。保護者の目が必要です。ぜひ、次の項目を参考に毎朝チェックしてください。

- 元気はよいか 顔色はよいか 食欲はあるか 排便はすんだか
- 声の調子はどうか 様子に変わったところはないか

中学生時代は身体の成長が著しい反面、一方では精神的に不安定な時期です。家庭と学校が手を携えて、よりよい成長のために力を出し合いたいと思います。学校からは「ほけんだより」等を通じて様子をお知らせしたいと思っています。御利用ください。学校においでの際は、保健室にもお気軽にお寄りください。お待ちしております。